

ご挨拶

「なぜ、こんなにも子供たち、大人たちは頑張っているのに、政治は助けてくれないのだろうか」

私は、小中高の教員として働いている中で、子供たちを通して取り巻く社会の辛さを肌で感じてまいりました。だからこそ、皆さまの暮らしに寄り添い、「人づくりこそ国づくり」の思いで、教育や子育て、科学技術など、人に対して投資をしていきたいと政治の道を志しました。

教員をしている時に、生徒が「うちは大変だから塾には行けない。だから学校で頑張る。」この言葉を聞き、私は胸が締めつけられる思いでした。学校教育は子どもたちの学びの土台になり得ているのか。塾なども含めた教育費、体験などの教育格差は進んでいないか。

勉強したい気持ちがあっても、家庭の事情で十分な学びの機会を得られない、学校教育の停滞と現場の負担など、この現実を変えるため、すべての子ども・保護者・地域の方々が幸せに学べる社会、制度を山口から改善し、支えます。

政治は、皆さまの声を形にするものです。私は、現場の声を大切にし、「人を大切にする社会」の実現に向けて全力で取り組みます。

関谷 拓馬

